千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)の概要

<計画期間> 令和2年度からおおむね5か年

1. 計画の趣旨

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものに し、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で、欠くことのできないものである。

「子どもの読書活動の推進に関する法律」より

現状

(H30)

75.7%

71.2%

73.1%

18.0%

小 6 * 1

中3*1

高 2 ** 2

小6

目標

(R6)

80%

80%

80%

8%

「子どもの読書活動の推進に関する法律」施行後の国の動向を踏まえ、第三次計画期間中における成果と課題、子どもを取り巻く読書環境の変化等を把握し、本県の子どもの読書活動を一層推進するために、第三次計画を改定し、今後の施策の基本的方針と具体的方策を定める「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)」を策定します。

- 2. 計画の性格 (1) 子どもの読書活動を全県的に推進するための手引き
 - (2)「読書県『ちば』」を目指す設計図
- 3. 基本理念

すべての子どもが、本に親しみながら成長していくための「読書県『ちば』」の推進 ~子どもと本をつなぐ・子どもの本でつながる読書活動の推進~

評価指標

①読書の好きな子どもの割合

②不読率(1か月に1冊も本を読

- 4. 基本方針
- (1)社会全体における子どもの読書への関心を高める取組の推進

目 標

子ども

o,

心を高め

- (2)読書環境の整備と連携体制の構築
- 5. 主な取組と指標(右表参照)

社会全体における子どもの読書活動への 関心を高める取組の推進

- (1)家庭における発達段階に応じた取組
 - ・家読の推進 ・セカンドブック事業への参加
- (2)地域における発達段階に応じた取組
 - ・公立図書館等の行事、サービス
- (3)学校等における発達段階に応じた取組
 - ・児童生徒が相互に図書を紹介する活動
- (4)情勢の変化への対応
 - 子どもと本をつなぐ新しいきっかけ

読書環境の整備と連携体制の構築

- (1)環境整備
 - ・本に親しめる場の充実 ・読書バリアフリー
- (2)家庭、地域、学校等の連携
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
- (3)普及・啓発活動
 - ・リーフレットの作成、配付 ・研修会
- (4)子どもの読書活動推進体制の整備
 - ・市町村推進計画策定 ・計画の進行管理

	る害への	まない児童・生徒)の割合	中 3		29.1%	20%
			高2※2		45.9%	35%
	環境整備と連携体制の構築を進める	③市町村子どもの読書活動推進	市町村		89.1%	100%
П		計画策定率			29.4%	88%
		④セカンドブック事業を行って いる市町村の割合	16.6%			50%
П		⑤優秀・優良学校図書館の学校の 割合	優	小	44.8%	65%
П			秀	中	30.7%	45%
			優	小	93.1%	100%
П			良	中	80.7%	95%
		⑥公立図書館と連携している学 校の割合	74.7%			100%
		⑦市町村立図書館等におけるボ ランティアの登録者数	2,817 人			3,300 人
		⑧ボランティアと連携・協力して いる学校の割合	61.5%			68%
		⑨公立図書館あるいは教育委員会が加わり、学校関係者と子どもの読書活動の推進について協議	46.3%			60%

第四次計画から取り入れた評価指数

- ④セカンドブック事業(ブックスタート事業実施率 100%達成のため)
- ⑤優秀・優良学校図書館※毎年調査(第三次計画指標としていた

学校図書館図書標準が5年おきの調査に変更したため)

①②③文部科学省調査 ④⑥⑦⑧千葉県社会教育調査

する機会がある市町村の割合※2

⑤千葉県学習指導課調査 ⑨千葉県生涯学習課調査 (①②の高2を含む)

- ※1 全国学力・学習状況調査 (平成31年度調査)
- ※2 千葉県生涯学習課調査 (平成29年度調査)

発達段階別アプローチ 6. 具体的な取組〈取組事例〉 ※下線…第四次計画 新たな取組 社会全体における子どもの読書への関心を高める取組の推進 読書環境の整備 乳幼児期 小学生期 中学生期 高校生期 連携体制の構築 「本に出会う」 「本に親しむ」 「本から学ぶ」 「本と歩む」 ・感動した本や印象に残っている本の話をする 読み聞かせをする 読み聞かせをする ・読書活動の大切さに (絵本、物語) ・子どもの音読を聴く ・読書体験を語る ついての理解 ・ブックスタート事業 ・家族読書タイムをつ ・本の内容を語り合う、本を紹介し合う ・読み聞かせ、子どもの 家 セカンドブック事業 ・図書館等の利用を促す 音読を聴く、読書につ に参加する ・感想を話し合う ・読書施設の紹介をする いて語り合う機会と 庭 ・図書館、公民館等の ・子どもと一緒に図書 ・将来の夢や就職について気になる分野や職業 時間の確保 イベントに参加する 館に本を借りに行く についての情報収集を一緒にする、図書館で 調べてみるようにすすめる ・好みの本を探す ·図書館、公民館図書 公立図書館(県立図書館、市町村立図書館、公民館図書室)における取組 室、児童館等の整備 ・乳幼児向けおはなし会 ・テーマ資料展示 ・レファレンス、読書相談 ・情報化の推進 ・乳幼児向けコーナー ·職場体験事業 ・YAサービス ・本の紹介 ・子どもの利用のため ・おすすめ絵本の紹介 ・インターン事業 ・子ども司書活動 のスペース確保 ・レファレンス、読書相談 地 ・子ども向け事業 ・ストーリーテリング ・ビブリオバトル ・ホームページの充実 ・運営状況に関する評価 域 (ぬいぐるみお泊り会等) ・子ども向け事業 •進路説明会 体験イベント ・読書バリアフリー推進 (読書通帳・科学遊びの会等) ・「子どもの読書活動推 進センター| の活動 生涯学習センター、ボランティア団体、民間団体、民間企業における取組 ・子どものための郷土資 地域文庫・家庭文庫での読書 料の充実と情報発信 •読み聞かせ ・全校をあげての読書活動 ・幼稚園、保育所等に 学習指導要領を (絵本、物語) おける環境整備 ・様々な交流による読み聞かせ 踏まえた読書活動 ・絵本や物語を読み、 ・推薦図書コーナーの設置 ・魅力ある学校図書館 学 絵をかいたり、演じ ・卒業までに一定量の読書を推奨するなどの目標設定 づくり たりする活動 ・子どもが相互に図書を紹介し、様々な分野の図書に触れる活動 ・人的体制の整備 校 ビブリオバトル、読書会、ポップづくり、ブックトーク、 ・ボランティアや児童生 ·学校図書館自己評価 等 徒による読み聞かせ アニマシオン、ストーリーテリング ・読書バリアフリー推進 ・図書館資料を活用した授業の展開 ・推薦図書コーナー設置 ・図鑑を見る活動 ・図書委員、子ども司書 (ジュニア司書) 等の活動 ・ブックスタート事業の実施 ・市町村子どもの読書活動推進計画策定

市 ·セカン 町 ·地域の写 村 和 行 政組

- ・セカンドブック事業の実施
- ・地域の実態に応じた子どもの読書への関心を高める 取組
- ・図書館あるいは教育委員会が加わり、学校関係者と子どもの 読書活動について協議する機会の設置
- ・検診や親子で参加する行事での啓発
- ・子育て支援事業における啓発
- ・「子ども読書の日」「こどもの読書週間」等における啓発

県行政

- ・子ども読書の集いの実施
- ・ビブリオバトル大会の実施
- ・情勢の変化への対応

(情報モラル教育の充実、子どもと本をつなぐ新しい

きっかけづくりの推進) ※タブレット端末・インターネット活用、電子図書館を利用した読書

- ・学校図書館と公立図書館、行政等の連携を図るための研修会の 実施 ※地域の課題に応じた研修会の実施
- ・千葉県子どもの読書活動推進計画の点検・評価、進行管理
- ・子どもの読書活動啓発リーフレットの作成・配布
- ・「子ども読書の日|「こどもの読書週間|等における啓発
- ・公立義務諸学校及び県立学校への人的配置

※学校等…幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、 特別支援学校、義務教育学校

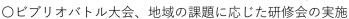
※セカンドブック事業…3歳から小学校入学前の子どもを対象とした読書への関心を高める取組

千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)の特色は

『発達段階別アプローチ』と『環境整備・連携』

第四次計画新たな取組

- ○セカンドブック事業
- ○タブレット端末・インターネット活用、電子図書館を利用した読書
- ○読みやすさやバリアフリーに配慮した環境整備(読書バリアフリー)





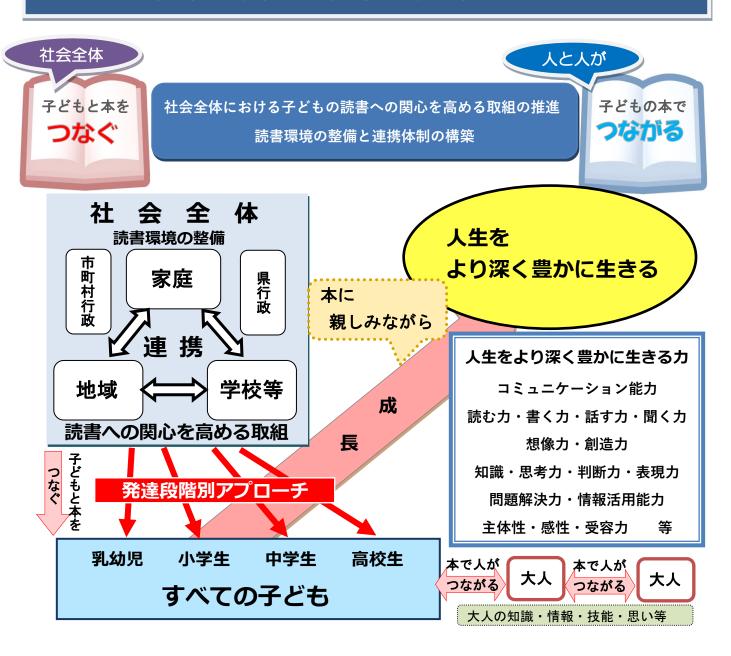
千葉県マスコットキャラクター チーバくん



「読書県『ちば』」



すべての子どもが、本に親しみながら成長していくための「読書県『ちば』」の推進 ~子どもと本をつなぐ・子どもの本でつながる読書活動の推進~



★「千葉県子ども読書活動推進計画(第四次)」は、千葉県教育委員会ホームページ(https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/)

※詳しくは

ちば 読書 第四次

検索

【お問い合わせ先】千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 TEL:043-223-4071 FAX:043-222-3565

千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)

すべての子どもが、本に親しみながら成長していくための「読書県『ちば』」の推進 ~子どもと本をつなぐ・子どもの本でつながる読書活動の推進~



千葉県マスコットキャラクター チーバくん

~子どもと本をつなぐ・子どもの本でつながる読書活動の推進~

読書は、子どもが人生をより深く豊かに生きるために不可欠なものです。読書 習慣を身に付けるためには、子どもが本の楽しさや魅力を感じることができる機会の 充実が必要です。本に触れるきっかけがあり、手を伸ばすと好きな本や調べたい本が ある。「子どもと本をつなぐ」取組や読書環境が本好きの子どもを育てます。

また、社会には、読書の大切さを知り、子どもの健やかな成長を願う人が多くいます。その人々がもっている知識・情報・技能・思い等は多様です。そうした大人同士や大人と子どもが読書活動でつながる、すなわち、「子どもの本でつながる」ことで生まれる効果は、計り知れません。

この**千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)**は、子どもの読書活動を全県的に 推進するための手引きであり、基本方針や具体的な取組を示したものです。

読書が好きな子どもがさらに増えることを願い、**すべての子どもが、本に親しみながら成長していくための「読書県『ちば』」の推進**を基本理念に掲げ、県民のみなさんと共に子どもの読書活動を推進していきます。

令和2年2月 千葉県教育委員会